新宿区日本語教室 FAQ

Q. 教室の空き状況を知りたい。
A. 状況が流動的であるため、回答は致しかねます。
入室をご希望の場合、まずは申込書をご提出ください。

Q. 教室の見学をしたい。
A. 教室の見学はできません。

Q. 申込書を提出したが、返信がない。
A. 一週間を過ぎても返信がない場合は、お手数ですが事務局にご一報ください。
（各学期新規申込の方は下記「Q. 次の学期から参加したいのだが、いつから申し込めるか。」をご参照ください。）

Q. 友達と一緒に参加したい。
A. 教室の空き状況とご提出いただいた申込書に基づき、お一人ずつご案内します。

Q. 学期途中からでも参加できるか。
A. 原則 1 学期は 6 月第 3 週目、2 学期は 11 月第 3 週目、3 学期は 2 月第 3 週目の教室開催日を最終入室日としています。

Q. 次の学期から参加したいのだが、いつから申し込めるか。
A. 1 学期分は 3 月 15 日以降、2 学期分は 7 月 15 日以降、3 学期分は 12 月 15 日以降に受け付けます。次学期からの新規入室については、1 学期は 3 月 31 日、2 学期分は 7 月 31 日、3 学期分は 12 月 28 日までを目安に順次ご案内します。なお、各学期の開始月（4 月、9 月、1 月）7 日以降を目安に開講し、終了月（7 月、12 月、3 月）10 日を目安に終了します。

Q. 事務局から連絡が来たが、別の教室に変更したい。
A. 登録をキャンセルし、変更後の教室に改めて登録しなおし、順次ご案内します。元の教室の登録確保と変更後の教室の入室順序の優遇措置は行いません。

Q. キャンセル待ちの連絡が来たが、いつから参加できるか。
A. 時期の回答は致しかねます。空きが出次第、区内在住の方を優先して順次ご案内します。
また、参加を確約するものではありません。

Q. 申込書を提出したがキャンセル待ちで参加できなかった。次の学期から参加できるか。

A. 1 学期は 6 月第 3 週目、2 学期は 11 月第 3 週目、3 学期は 2 月第 3 週目の教室開催日を申込書の有効期限日としています（各学期の最終入室日と同一です）。有効期限日までに入室できず次の学期から参加をご希望される場合、お手数ですが申込書を再度ご提出ください。1 学期分は 3 月 15 日以降、2 学期分は 7 月 15 日以降、3 学期分は 12 月 15 日以降に受け付けます。

Q. 参加費はどのように支払うのか。

A. 入室のご案内時にお伝えします。

Q. 次の学期も継続して同じ教室に参加したい。

A. 修了対象とされた方は継続して参加できません。
修了対象となる方へは学期の初頭にボランティアからその旨をお伝えします。
教室で修了対象とされた方以外は、学期末に教室でボランティアへ継続する旨をお申し出ください。同一教室で継続して参加する場合、申込書の再提出は不要です。
教室を変更して継続参加を希望する場合は、申込書を再提出してください。なお、この場合は変更前の教室の登録を取り消し、変更後の教室に改めて登録しなおします。また、元の教室の登録確保と変更後の教室の入室順序の優遇措置は行いません。

Q. 以前参加していたが、また参加したい。

A. 修了対象とされた方以外は、再度申込書をご提出ください。

Q. ほかの日本語教室を紹介してほしい。

A. 紹介はしておりませんが、「日本語ひろば」（新宿区）、「東京日本語教室サイト」（東京都つながり創生財団）、「東京日本語ボランティア・ネットワーク」（TNVN）等で検索してみてください。

Q. なにか持ち物はあるか。

A. 事務局から指定するものはありません。

Q. どのテキストを使っているのか。

A. 事務局は特定のテキストをボランティアに対して指定していません。

Q. どのように学習するのか。

A. 基本的には 1 人のボランティアに対して数名の学習者が参加するグループ学習です。各学期の開始日から最終入室日までは新規学習者が随時参加する前提で学習します。

Q.　文法や文型、読み書きを学びたい。

A. 新宿区日本語教室（SJC）は「きく」「はなす」に重点を置き、新宿に暮らす方々が地域で日本語コミュニケーションをスムーズに行えるような支援を指向しています。「よむ」「かく」の支援をご希望される方は、ほかの教室へのご参加をご検討ください。

Q. 事務局や教室に外国語（英語や中国語など）ができる人はいるか。

A. 基本的にいません。事務局からの連絡は日本語で行います。ご自身で必要な場合は、通訳や翻訳機能のアプリやツールをご活用ください。

（随時更新中）